

九州北部へTEC-FORCE派遣

～平成29年7月九州北部豪雨～

TEC-FORCE **Technical Emergency**
Control FORCE



福岡県朝倉市 土砂崩落現場(平成29年7月11日撮影)



平成29年7月

国土交通省 中部地方整備局

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の概要

TEC-FORCEとは

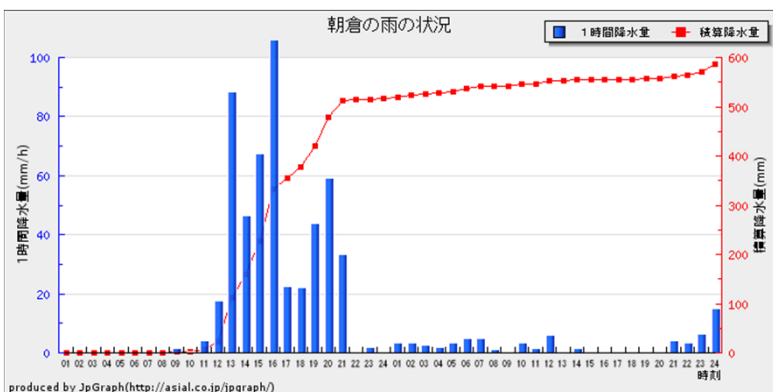
- 大規模な自然災害等に際して、被災自治体に対し、被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため、平成20年4月に創設
- 国土交通省災害対策本部長の指揮命令系統のもと、全国の地方整備局等の職員が活動
- 中部地方整備局の職員の内1,482名が隊員として任命（平成29年7月現在）

平成29年7月九州北部豪雨に係る被害の概要

九州北部豪雨の概要

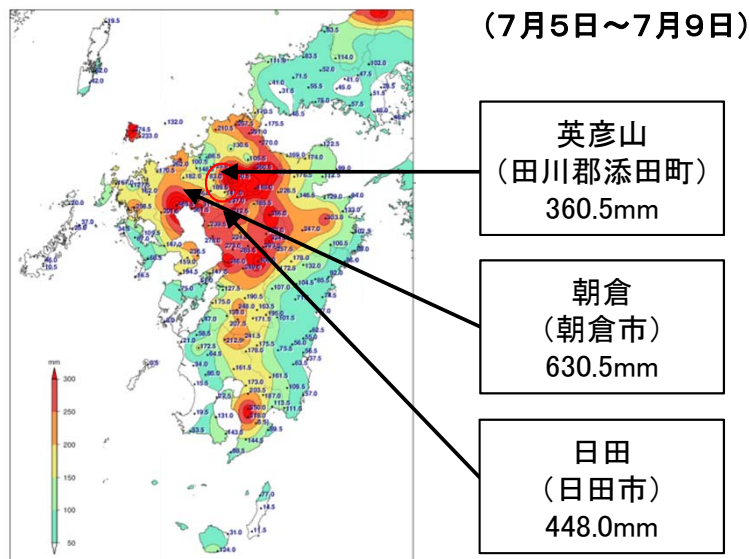
7月5日から6日にかけて、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となり、甚大な被害が生じた。特に、福岡県朝倉市や大分県日田市等では、24時間降水量の値が観測史上1位の値を更新するなど、これまでの観測記録を更新する大雨となった。（気象庁報道発表資料抜粋）

▶アメダス降水量の時系列図（福岡管区気象台情報）



福岡県朝倉市（7月5日01時～7月6日24時）

▶アメダス降水量分布図（福岡管区気象台情報）



▶福岡県及び大分県の被害情報

■人的被害

死者 35名
行方不明者 6名

■物的（住家）被害

全壊 116棟
半壊 77棟
床上浸水 385棟
床下浸水 1009棟

（消防庁情報：7月25日13:00現在）

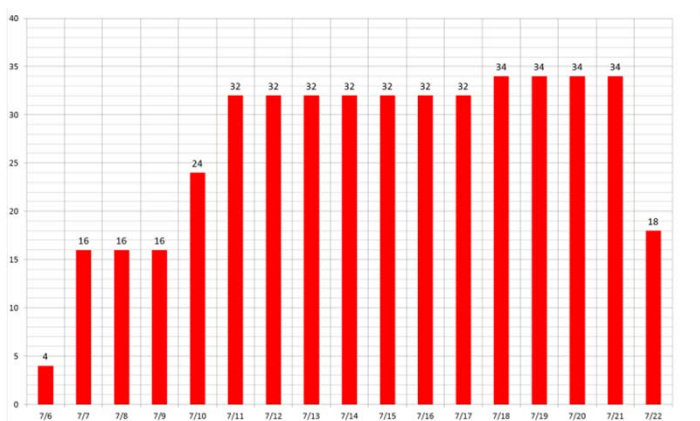


TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

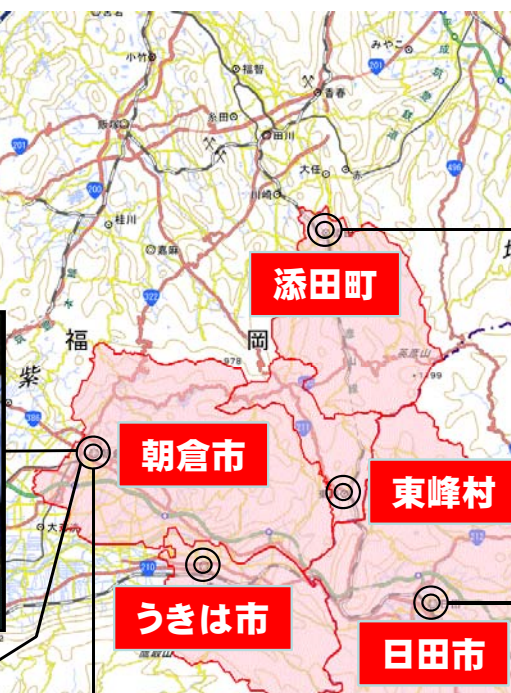
TEC-FORCE派遣

平成29年7月九州北部豪雨による甚大な被害に対し、中部地方整備局はTEC-FORCEを福岡県及び大分県に派遣し、河川、砂防、道路の被災状況調査及び散水車による路面清掃を実施した。TEC-FORCE活動は7月6日～7月22日の計17日間行われ、最終調査結果を自治体首長に報告した。

▶ 中部地方整備局TEC-FORCE派遣状況(人・日)



7月6日～7月22日にかけて、隊員82名(延べ454人・日)を派遣



他機関と連携した支援活動

現地で活動をするにあたり、警察、消防、自衛隊といった、他の機関との情報共有を適切に行うことで、迅速かつ的確な被災状況調査を可能にした。



福岡県警からの現場状況聞き取り



陸上自衛隊及び地域住民との情報共有

調査結果の報告

中部地方整備局のTEC-FORCEは、福岡県朝倉市、添田町、大分県日田市の被災状況調査を中心に活動を行い、自治体首長に対し、調査結果を報告した。



朝倉県土整備事務所長へ被災状況調査報告書の提出



日田市長との被災状況調査打ち合わせ



添田町役場へ被災状況調査報告書の提出



朝倉市長との被災状況調査打ち合わせ



国土交通省

国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災課

〒460-8514

名古屋市中区三の丸2-5-1

名古屋合同庁舎2号館 Tel:052-953-8357

URL:<http://www.cbr.mlit.go.jp>

平成29年7月26日作成